

広島大学短期交換留学プログラム 派遣留学報告書

	記入日	2018年 1月21日
派遣プログラム	<input checked="" type="checkbox"/> HUSA	<input type="checkbox"/> USAC <input type="checkbox"/> UMAP
留学先大学	ネバダ大学 リノ校 (国名:アメリカ)	
所属学部・学科等名	College of Liberal Arts	
在籍身分	Non-degree exchange student	
留学期間	2017年 8月21日～	2017年 12月20日

1. 留学するまで	
留学への志望動機・派遣先大学を希望した理由	将来海外で仕事をしようと考えており、英語力の向上はもちろん異文化理解も深めたいと思ひ希望した。ネバダ大学を希望した理由は、英語圏の大学の中から自分のIELTSのスコアで行けるのがネバダ大学だったため。
留学準備を始めた時期 (応募する何か月前ですか?)	応募の2ヶ月前
事前準備について (どのような準備をしたか、しておけばよかったか)	<ul style="list-style-type: none"> ・テストの約2ヶ月前からIELTSに向けて勉強を始めたが勉強不足で目標点数を取ることができなかった。もう少し早くから勉強を始めて、英語のネイティブの先生などをお願いしもっとライティングやリスニングの練習をしておけばよかった。 ・実際に留学に行った人の話をもっときいておけばよかった。

2. 渡航について	
ビザについて	ビザの種類: J-1
	ビザ申請先: 在福岡米国領事館
	提出書類: ① DS-160 確認ページ ② パスポートのコピー ③ 証明写真1枚 ④面接予約確認ページ ⑤ DS-2019 ⑥ SEVIS 費用支払い証明書 ⑦ 財政証明
	手続きに要した日数: 約3週間
その他必要な事前手続き	<ul style="list-style-type: none"> ・ パスポート申請 ・ SEVIS 費用支払い ・ 住居の手配 ・ 携帯の契約 ・ 予防接種 ・ 健康診断 ・ 海外保険加入 ・ 学修計画の提出 ・ 留学願の提出
出国年月日	2017年 8月 18日
経路 (往路)	成田空港 → ロサンゼルス国際空港 → リノ・タホ国際空港
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (大学関係者 ・ <u>その他</u>) <input type="checkbox"/> 無
到着後オリエンテーションの有無・期間・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (期間: 2日間 内容: オリエンテーション・ English Test) <input type="checkbox"/> 無
帰国年月日	2017年 12月 24日
経路 (復路)	ロサンゼルス国際空港 → 成田空港

3. 留学費用について

支出額	総額		約110万	円	
	内訳	渡航費（往復）	約25万	円	
		ビザ申請手数料	約1万8千	円	(\$160)
		予防接種費用	約3万5千	円	
		保険料	約6万	円	
		教材費（授業料以外の学費）	約10万	円	（教科書費と施設費）
		宿舍費（住居費）	約25万	円	
		光熱費	0	円	
		食費	約15万	円	
		通信費（インターネット・携帯）	約2万	円	
		交通費（宿舍－大学間）	0	円	
		交際費		円	
その他（ SEVIS 費）	約2万	円	(\$180)		
（ 旅行・娯楽・その他費）	約20万	円			
（ 費）		円			

4. 授業・修学について

授業の概要について （カリキュラム、プログラム、履修した科目、時間数、履修形態等）	<p>Writing（火、木 7:30 - 8:45） Speaking（火、木 9:00 - 10:15） Critical Thinking（火、木 16:30 - 17:45） Psychology（月、水、金 の中から週に一回90分の授業と、週に1回以上20分程度の小テスト）</p> <p>履修については4、5個が平均だった。オリエンテーションと同じ時期に English Bridge Placement Test というものがある。このテストでは Reading, Writing, Speaking, Listening の能力が問われ、テストのスコアによって、それぞれの授業への出席が免除、Recommended, required の三段階で支持される。そこで Required となったものが自動的に履修登録され、残りの枠で自分のとりたいものを履修するという形である。しかし、どうしても他に受けたい授業がある場合、Exchange Student であれば Required とされた授業も頼めば免除してもらえる。</p>
単位互換希望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
授業・勉強についてのアドバイス （留学前の履修、留学中、単位取得等）	<p>履修については留学前から、自分の所属する予定の学部のアドバイザーと連絡を取り履修の相談などをし、それと Bridge Test の結果をもとに履修を組む流れである。授業は始めのうちはノートを取りながら教授の話を聞き取るのは難しい。一番最初の授業で教授に留学生であるということを伝えておくと授業中も気を使ってくれる。また、お願いすることで授業の録音も可能である。また、アメリカの大学では Office Hour というものがあり、それは学生が教授を訪ねられるように設けられた時間なのでそれを利用して分からないことがあれば積極的に聞きに行くことをおすすめする。</p>
日本と異なる授業形態などにおける困難や挑戦（ティーチングスタイル・先生と学生の関係性など）	<p>アメリカの授業は教授と生徒との距離が近い。授業中質問が多すぎて全く授業が進まないこともある。また、ディスカッションも頻繁に行われる。教授はわかりやすく説明しようとしてくれるので比較的聞き取りやすいが、ディスカッションでは現地の学生同士の会話になるので全く聞き取れず最後の1ヶ月でやっと発言できるようになった。しかし、発言してみると相手も理解しようとしてくれるので、怖がらずに自分の意見を早いうちから発言しておけばと後悔している。</p>

5. 生活等について	
(1) 留学先の住居について	
住居の種類	<input type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input checked="" type="checkbox"/> その他 (International House (シェアハウス))
住居の広さ	約 <input type="text"/> m ² 同居人の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 (7人) <input type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 冷房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 ()
住居費	1ヶ月当たり \$500 (現地通貨) 約 5万5千円
留学先での住居全般に関するアドバイス	すぐに枠が埋まってしまうので留学が決まり次第すぐに住居を探したほうがいい。また、住居に関しては実際に行った人に聞いて探るのが早いと思う。
(2) 医療について	
保険の加入先	<input checked="" type="checkbox"/> 本学指定の保険 <input type="checkbox"/> 留学先大学指定の保険 <input type="checkbox"/> その他 ()
保険の補償内容	補償額 死亡 円、入院1日 円 その他 ()
留学前後での予防接種の必要の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有(種類 髄膜炎,おたふく 回数: 各1回 医療機関名: 広島大学病院) <input type="checkbox"/> 無
留学先国の医療事情 (日本と比較して)	病院などにはかかっていないため実際に見たわけではないが問題はないと思う。 歯科治療に保険が適用されないなど保険の適用範囲が違う。
留学先での健康管理、衛生面について特に注意すべきこと	普段は気にしなくても大丈夫だが、現地の友人に、イベントなどで屋台などではなく個人的に無料で配っているような食べ物には薬物が混入している可能性があるため受け取るなどということを言われた。
(3) 危険を感じた地域、状況、安全管理において注意したこと	
自分の住んでいた家の50メートルほどの交差点で発砲事件、歩いて5分ほどのダウンタウンで銃乱射事件があった。夜は基本一人で歩かない方がいい。ダウンタウンにはホームレスの人がいる。基本目を合わさずにしていけば大丈夫。どの街にも危険なエリアがあるためあらかじめ調べておき近寄らない方がいい。安全なエリアに殺人事件などの頻発している危険なエリアが隣接していることもあるので、旅行に行く場合は行き先の治安や危険エリアなどをしっかり把握しておくべきである。	
(4) 食生活についてのアドバイス	
食事としては外食、ミールプランと自炊という選択肢がある。アメリカではファストフード店をのぞいて外食は高い、加えてチップも払うことになるため余計に高くなってしまふ。またミールプランはピュッフェ形式の食堂で1週間に決められた回数食べられるというものだが、値段が高く家と離れていたため利用しなかった。そのため自分は基本自炊をしていた。スーパーの食材は大容量で安い。スーパーが歩いて行ける距離になく週末に一回だけの買い物になるため、まとめ買いをして冷凍保存していた。考えて節約をすれば1週間の食費を三千元以内に抑えることができる。	
(5) 気候・服装についてのアドバイス	
リノは気候的には砂漠気候であり夏は40度を超える、しかし乾燥しているためほとんど汗はかかない。しかし、標高が1500メートル近くあるため冬は-10度近くまで気温が下がり雪も降る。冬服をしっかり準備しておいた方がいい。	

(5) 学内外の施設・設備環境について（インターネット環境含む）	
大学の設備は広島大学の何倍も整っているため心配することはない。学内は基本どこでもWi-Fiが繋がる。また図書館は一部の曜日、期間をのぞいて夜中の2時まで空いている。シムも充実しており最初に45ドル払えば1セメスター無料で何回でも利用できる。	
(6) 現地学生や地域との交流について（どのような、機会・きっかけがありましたか？）	
現地学生との交流はJapanese Festival というイベントが学内で開かれその時に現地の学生と協力して出店を出す機会があるためそれに参加すると現地の学生と交流することができる。Japanese Club や International Club などに入ると日本に興味がある人も多いため友達もできやすい。また、IELC の会話/パートナーに応募してみるのも一つの手である。色々と機会はあるが一番おすすめなのは、自分で興味のあるクラブを探してそこに入ってみることである。僕はGlee Clubに入っていたが日本人はおろか留学生すらいないというような環境で、様々な刺激を受けることができた。地域との交流は僕の住んでいたInternational House を運営する方々がSunday Dinner といって毎週日曜一つの家に留学生、現地の人の関わらず多いときは40人ほど集まってご飯を食べたり、町のイベントに連れて行ってくれたり、家に招いてくれたりし、そのなかでいろんな人と交流することができた。リノでは探せばイベントなど結構やっているため機会があれば参加してみるのもおすすめする。	
(7) 習慣やマナーの違いによる対人関係等、注意すべきこと	
違いを感じたことは、日本より多くコミュニケーションをとるところである。知らない人でも会話することもありフレンドリーな人が多い。日本人は口に出さずに会釈だけするというところもあるが、アメリカではちょっとしたことで感謝の言葉を口にするのが大事である。また、マナーとしては日本にないものとしてチップ制度がある。レストランやホテルなどサービスがあるところではチップを払うのがマナーである。	
(8) 日本から持っていくべきもの、持っていきべきでないもの	
持って行くべきもの ・ 現地の人へのお土産 持って行くべきでないもの ・ 余分な服 ・ 醤油など（スーパーにある） アメリカでは買えないと思っていたものが結構買えたりする。	
(9) その他生活等に関して参考となる情報・アドバイス	
留学して時間が経ち慣れてしまうと危険意識が低下してくるが、常にここは日本ではないということを忘れてはいけない。留学して大事だと感じたことは情報収集である。情報収集は安全につながり、また新しい経験などにも繋がる。	

6. 帰国後の進路について

卒業予定年月	2019年 3月 （当初の卒業予定年月 2019年 3月）
卒業が遅れる見込みの場合、その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他（具体的に _____ ）
現在の状況および今後の予定・進路等	現在留年することなく3年生として在籍。卒業後は他大学の院に進学する予定。
就職活動や留学前の単位取得、教育実習等についての工夫	自分の専攻は単位の先取り、互換ができないため留学後に留学中に取れなかった単位を取得する予定。

7. 留学準備, 留学中に役立った書籍, ウェブサイト等

- 実際に留学した人の体験談などを書いたサイトや動画などをみるのがおすすめ。
- 実際に留学した人に聞くのが一番効率的

8. 後輩へのメッセージ

留学は1セメスターにしても2セメスターにしても短いです。その短い時間を充実したものにできるかは自分の準備や留学先での意識や取り組み次第です。僕自身留学中は思い切って新しいことに挑戦することで様々な経験ができ自分に自信をつけることができました。終わってから後悔しないよう安全に気をつけていろんなことに挑戦してください。

9. 自由記述 (1,200 字程度)

今回の4ヶ月の留学を通して様々なことを感じ、学ぶことができた。やはり生活をしていて日本と比べることが多々あった。日本の方が良いと感じることや反対にアメリカの方が良いと感じることもあった。大学生活でいうとアメリカの学生は大学のパーカーを着ていたり自分の大学に誇りを持っているように感じた。授業はというと、日本の大学に多いたただ聞くだけの講義とは違い、質問やディスカッションなどで生徒が積極的に授業に参加しているように感じられ充実しているように感じた。衛生面の違いでいうと、大学内は非常に綺麗だがやはりダウンタウンは日本に比べるとかなり汚い、また大きな街に行っても日本のように綺麗なところはあまりないと感じた。治安は物凄く悪いわけでもないが、日本に比べるとかなり悪い。文化の違いでいうと、やはり自由の国と言うだけあってそれぞれが自分の考えを持ち生活しているように感じた。また、日本よりも人々の心に余裕があり寛大であるように感じた。

このように色々と感じることがあったが、その中でも特に記憶に残っている体験が3つある。一つはアメリカについて3日目ぐらいの深夜に自分の部屋から見えるところで発砲事件があったことである。翌日現地の人から当たり前のように「これがアメリカだ」と言われ、改めてここは日本ではなくアメリカであるということを感じた。もう一つは飛行機の中での出来事である。フライトの前にそのフライトについて説明をするのだが、その説明の中で行き先を間違えてしまった。日本であればほとんどの乗客は真顔や怪訝そうな顔をして、間違ってしまった方は申し訳ない申し訳ないと謝るだろう。しかし、間違った時乗客何人かが責めるような口調じゃなく笑顔で「ちがうだろ」と言い、それに対して間違った乗務員も笑顔で「あ、間違えてしまった」というような反応をして、機内が笑いに包まれた。乗客の行動からももちろんアメリカに住んでいる人の寛容さを感じられたが、乗務員の行動からも仕事であっても心に余裕をもったままでいい意味での適当さが良いと感じた。

今回留学を終えて成長したと感じていることはいくつかあるが特に大きく感じたのは、情報収集能力と行動力が上がったことである。アメリカという日本と全く違った国で暮らすにはどこに行くにも情報収集が必要である。自分が訪れ土地の治安など日本には調べないようなことも調べたりした。安全のためにも事前の情報収集が大事であるということを知ることでもできた。

行動力については自分でやろうと思ったことがあれば自分で徹底的に調べて行動に移すという癖がついた。今までは思うだけやらないことが多かったため大きな成長だと思う。実際にこの思い立ってから行動に移すまでの過程を何度か経験すると、それに伴って自分に自信がついてきた。

この二つの成長は大きな収穫だと思っている。

今回の留学で英語を集中的に学ぶことで自分の英語力の向上を少しであるが感じることができた。しかしまだ他の留学生と比べるとまだまだであり、ネイティブとの会話はまだまだ難しいところがある。将来の自分の夢である開教使という仕事には相当な英語力が必要であるため、今回実感した自分の英語力の足りなさを受け止め、今後成長できるよう勉強をしていきたい。また、語学についてだけでなく、アメリカと日本の違い、それぞれの良い点と悪い点を知ることができた。それらも含め、またアメリカで感じた寛容の心を持って文化の違い人と人との違いを尊重していきたいとお思った。

※また、今回の留学で留学準備や現地の様子など色々分からないことがあって自分自身苦労することもありました。ネバダ大学に行かれる方で聞きたいことがありましたら連絡していただければ自分のできる限りお手伝いいたします。

注1) 報告書およびその内容は、留学希望者への情報提供のため、HUSA ホームページおよび広島大学ホームページへの掲載、事務室での閲覧や大学の留学情報案内の作成のために利用させていただきます(氏名及び学生番号については、非公開とします)。ただし、公開にあたり不適切と判断された内容については、国際交流グループにて削除等させていただきますので予めご了承ください。

Reno Sign



Speaking Class



Glee Club

